

令和 3 年度第 3 回誰もが共に暮らすための市民会議

アンケート結果

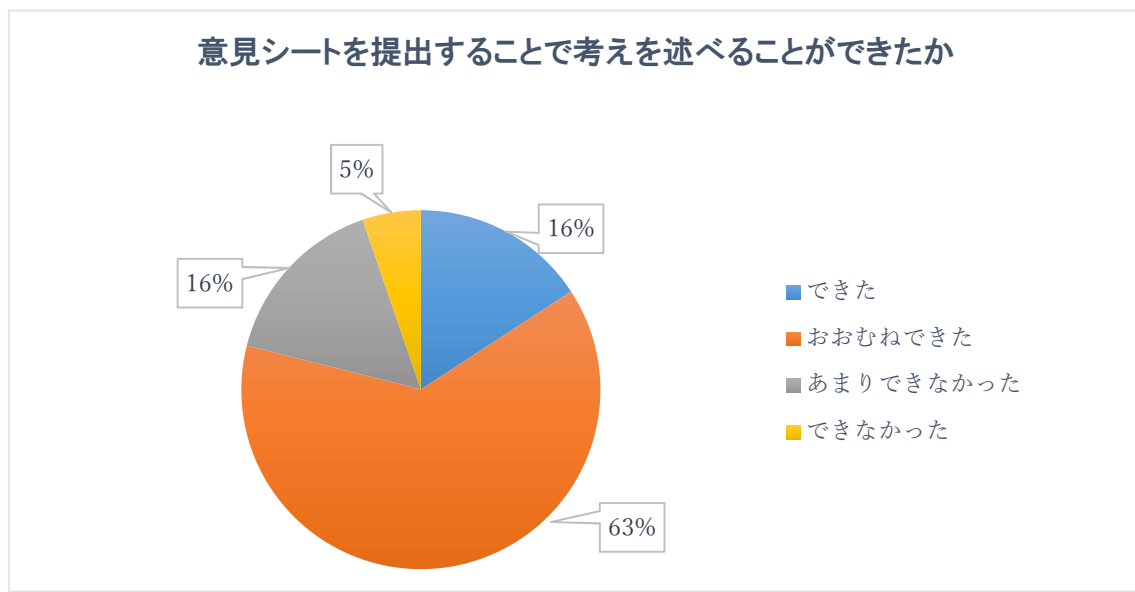
令和 3 年度第 3 回誰もが共に暮らすための市民会議（書面会議）において実施しました、アンケートについて結果をまとめました。アンケート結果につきましては、今後の市民会議の運営や、障害者施策の参考とさせていただきます。御協力ありがとうございました。

Q1. 今回は書面による開催でしたが、意見シートを提出することで、あなたの考えを述べることはできましたか。

○回答数：19 件

○回答結果：

できた（3 人）、おおむねできた（12 人）、あまりできなかった（3 人）、できなかった（1 人）



Q2. 今回の市民会議に関する御意見について、御自由にお書きください。

（一部抜粋）

・書面会議もコロナ禍での対応なので、しないよりはいいが参加者全員で話し合うことで、自分が知らなかったことを知ることができるので、書面会議は対面の市民会議には

敵わないと思う。

- ・書面会議だと思っていることをうまく書けていない気がする。
- ・今回は書面会議となったが、前回のアンケートでも会場参加者の回答が多かったように、書面だけでなく会場も併催してほしい。
- ・会場開催だと生の声が聞けたり、いろいろな障害の普段見えない部分にふれることができるのがよい。反対に、書面会議はコロナ禍の中外出が避けられたり、時間にゆとりが持てるが、文字では意見に限りがある。
- ・コロナ禍での困りごとをあげる機会はこの会議しかないなので、令和4年度以降も継続していてもらいたい。
- ・なるべく早い時期に、困りごとの事例と配慮や具体的な支援を見える化（HP掲載、カード化、冊子化）してほしい。
- ・誰もが共に暮らしやすい街にするためには、周りを思いやる優しい心を誰もが持てるのが一番だと思う。
- ・期限に余裕を持って送付してほしい。